


3 八事学区防犯パトロール隊（昭和区）

地域自主防犯活動活発化促進事業

実施結果報告書

1 団体名	八事学区防犯パトロール隊
2 事業名	住宅対象侵入盗・自動車盗対策事業
3 事業実施結果	<p>住宅対象侵入盗及び自動車盗の撲滅を図るため、次のとおり事業を実施した。</p> <p>1 パトロール体制の強化</p> <p>本パトロール隊では、午前（主に登校中の学童の見守り）、午後（侵入盗に対する警戒）及び夜間の防犯パトロールを実施している。これについて、隊員の増加を図るとともに、パトロール資材を新たに整備し、体制の強化を図った。</p> <p>(1) 汐見連合町内会防災・防犯会と同子ども会が共同で、青パトと徒歩による夜間パトロールを行った。20名の児童が参加し、内12名が交代で青パトに同乗。マイクを使って、町内の安全・安心を住民・通行人に呼びかけた。合わせて、八事交番から2名参加され、最近の八事学区の犯罪についての説明を受けた。（8月19日）</p> 

(2) パトロール隊隊員総会を開催。活動報告及び規約の改定を行うとともに、昭和警察署生活安全課から講師を招き新任隊員の講習会等を実施した。(10月28日)



(3) 昭和警察署の年末合同パトロールに参加。(12月1日)

(4) 「子どもを守る」八事小学校PTAの学区内パトロールにパトロールカーが随伴。徒歩によるパトロール活動を支援した。(12月7日)



(5) 消防団の年末警戒激励会に参加し、その後深夜パトロールを実施。(12月28日)

2 昭和区役所あるいは警察署が実施する住宅対象侵入盗及び自動車盗を撲滅するための啓発イベントに積極的に参加するほか、パトロール隊独自の企画による街頭啓発活動を実施した。

(1) 昭和区主催の宿泊型避難場運営訓練に合わせて、八事小学校校庭に於いて青パト車両を展示、見学・試乗会を実施して住民の防犯意識の高揚を図った。青パト隊員6名、小・中学生約100名が参加し、啓発品として警笛及びティッシュを配布した。(8月5日)



(2) 昭和警察署・昭和区役所主催の秋の防犯イベントに小川代表以下4名が参加。自動車関連窃盗防止、侵入盗対策についての講話を聞く。支給された「オレは誰？」及び「車上狙い撲滅！」の広報用ポスターを学区内7町内会の広報板に掲示した。(10月16日)



(3) 秋季クリーンキャンペーンに参加。南山、汐見、五軒家隼人町内の清掃に伴い徒歩と青パトで巡回した。特に清掃作業中の参加者の安全に留意した。(11月11日)



3 隣接する学区と連携し、広域で一体となった防犯活動を実施するため、合同でパトロールを実施するほか、情報の交換を密にするための報告会を開催した。

(1) 昭和警察署の秋季交通安全出発式に青パトが出動し、隊長以下3名が参加、帰路隣接学区からのパトロールを行った。(9月21日)



4 挨拶、声かけ運動の啓発、実践により、地域の連帯感強化を図った。

(1) 普段の徒歩パトロール活動、青パト巡回において、挨拶、声かけを啓発、実践した。

(2) 八事学区餅つき大会に参加し、参加者の安全確保に協力した。集まった児童・生徒に挨拶、声かけ運動を呼び掛けるとともに、住民には空き巣、特殊詐欺に注意するよう啓発活動を行った。



5 ステッカーにより、防犯カメラ設置地区であることを示し、防犯カメラによる犯罪抑止の有効性を確保するとともに、既設防犯カメラの点検・整備を行った。

約2週間にわたりe警ホン（学区内防犯カメラ）35機の点検・整備を実施し、併せて「防犯カメラ監視中・八事学区連絡協議会」の黄色ステッカーを100世帯に新規配布した。（10月12日～29日）



<p>4 成果と課題 及び今後の 取組み</p>	<p>(1) 事業実施の成果及び課題</p> <p>〈成果〉 学区内犯罪認知件数について、平成28年は80件であったが、本年は67件と17%弱の減少となり、本隊の青パトによるパトロールに一定の成果があったものと思われる（認知件数は、いずれも1月～11月の数値）。さらに、パトロールを強化したことにより、住民の防犯意識も高まったと推察される。来年春には住民の安心感・防犯意識調査を実施して今後の活動の指針としたい。</p> <p>〈課題〉 当学区は高齢者の占める割合が高く、現在の隊員の平均年齢も65歳と、若い後継者の確保が本隊の維持・継続のための絶対条件となっている。8月以降新規隊員の確保に努めたが、結果的には6名の増員にとどまり、パトロールの強化、質的な向上に問題を残している。今後は近隣の学生、小・中学校のPTAの役員の皆さんの参加を推進する必要があると思われる。 また、財政的な問題も解決しなければならない課題である。青パトの維持費は当初予算をはるかに超えて学区財政を圧迫している現状で、更なる活動をいかに展開するか、行政の配慮に期待するところ大である。</p> <p>(2) 今後の取組み</p> <p>A) 新規隊員の確保 B) 活動資金捻出 C) 少ない人員・資金で効率的に運営する方策を探る D) 高齢者の不安を軽減する活動の展開 E) 若い世代へのバトンタッチを推進する</p>
----------------------------------	--